

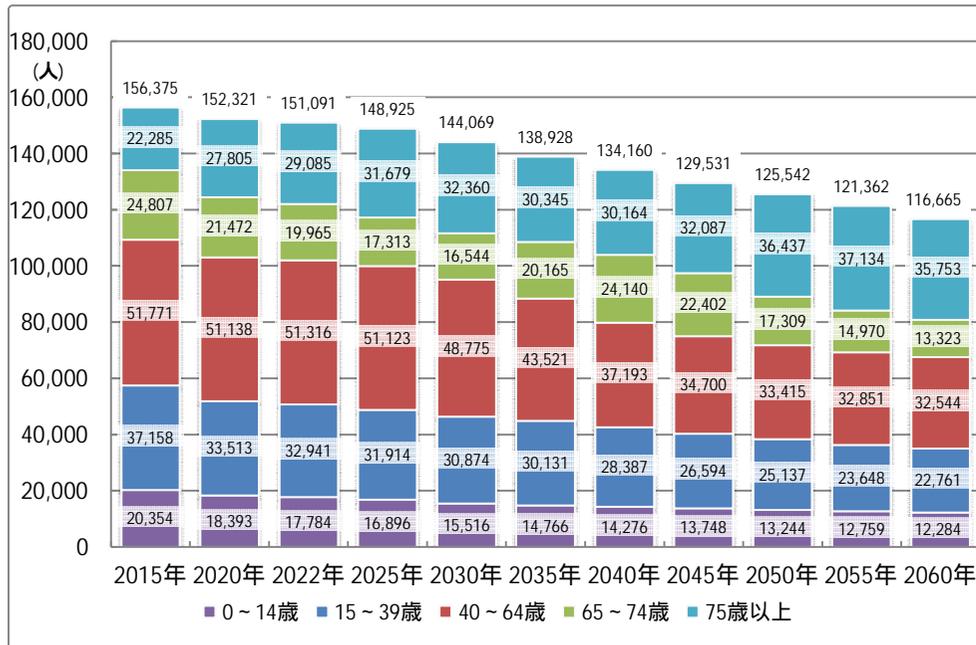
川西市(全市)の将来人口推計(コホート要因法)

基準人口: 2022年10月1日

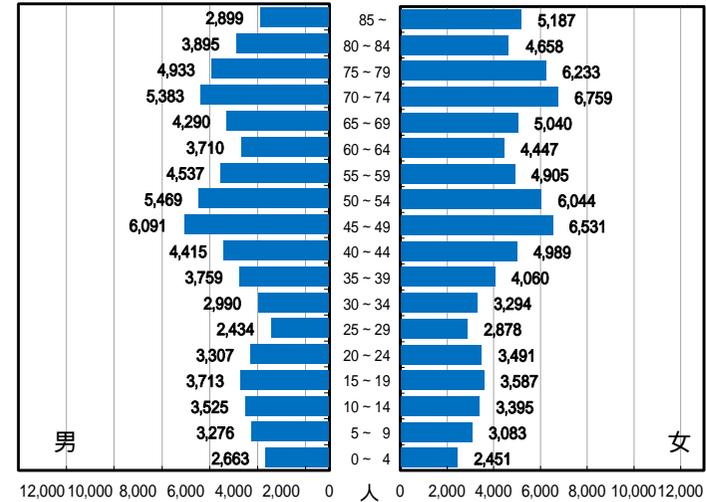
基準年次: 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法: 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』(平成30年推計)に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

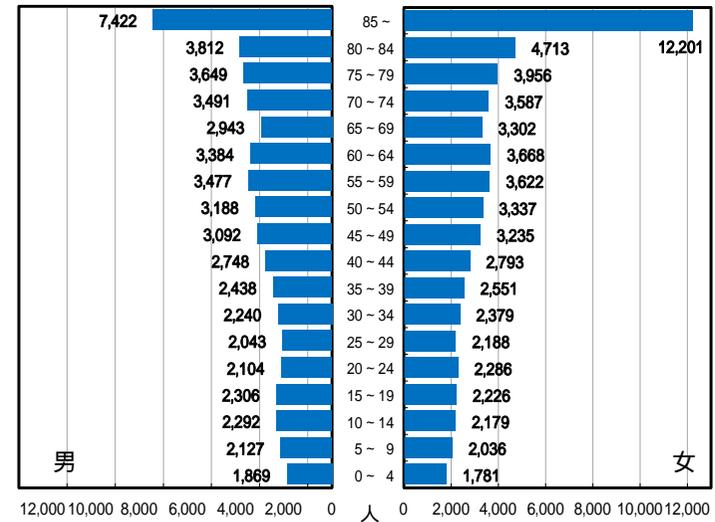
設定ケース: 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口の按分処理は、国公表値どおり



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



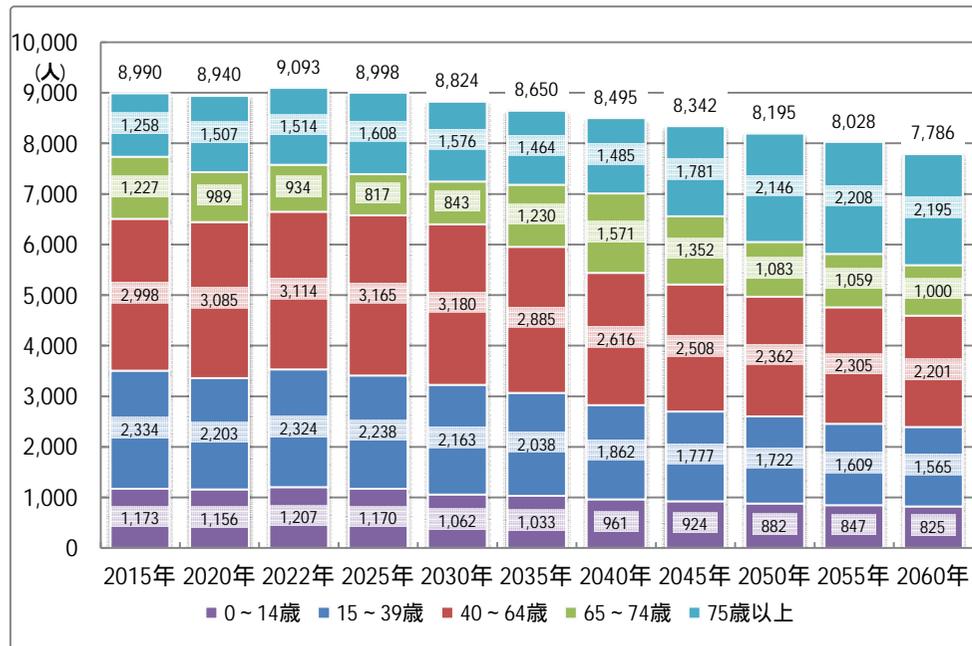
久代地区の将来人口推計（コホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

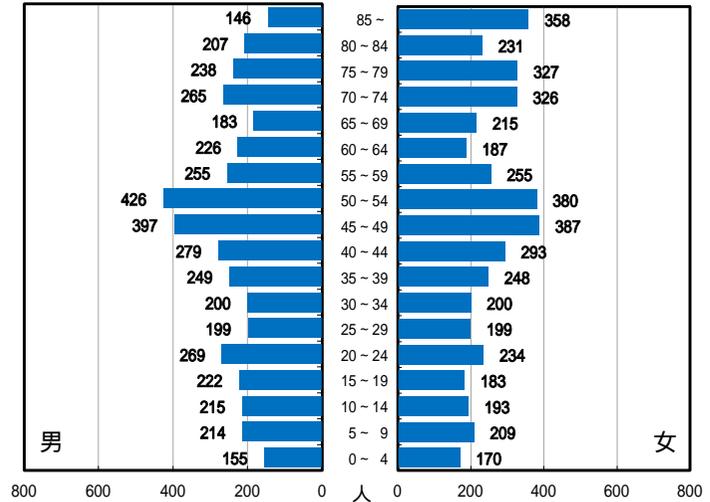
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

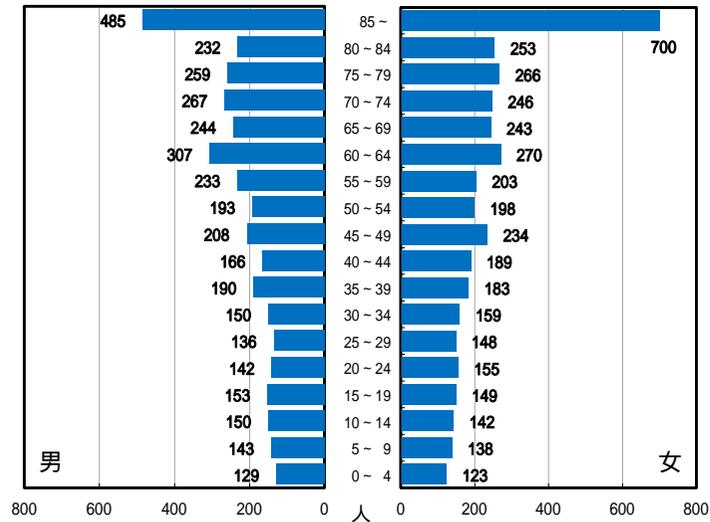
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



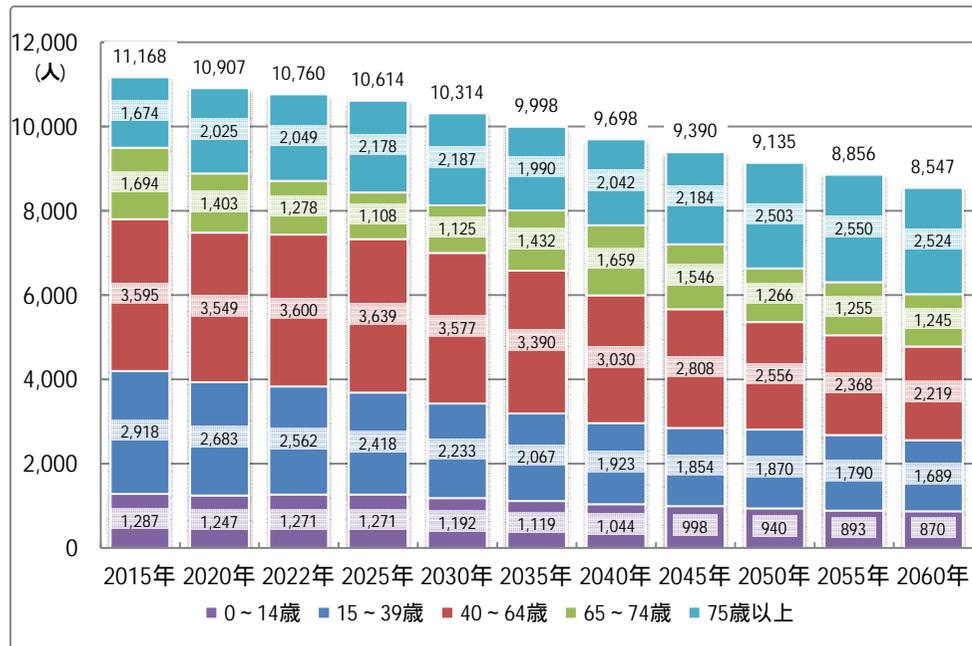
加茂地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

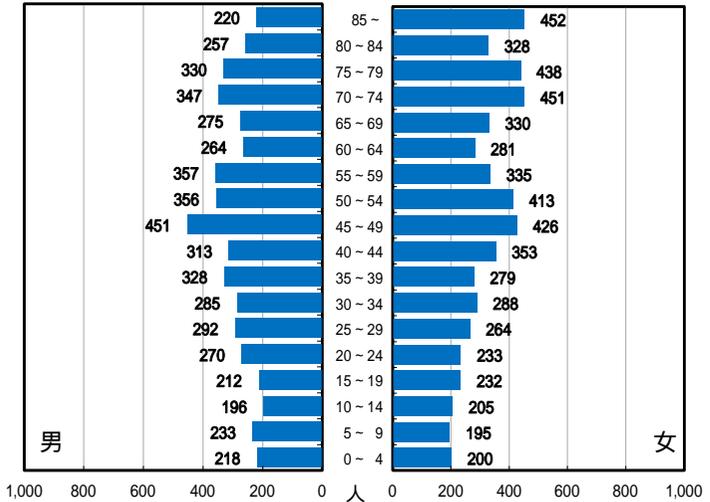
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

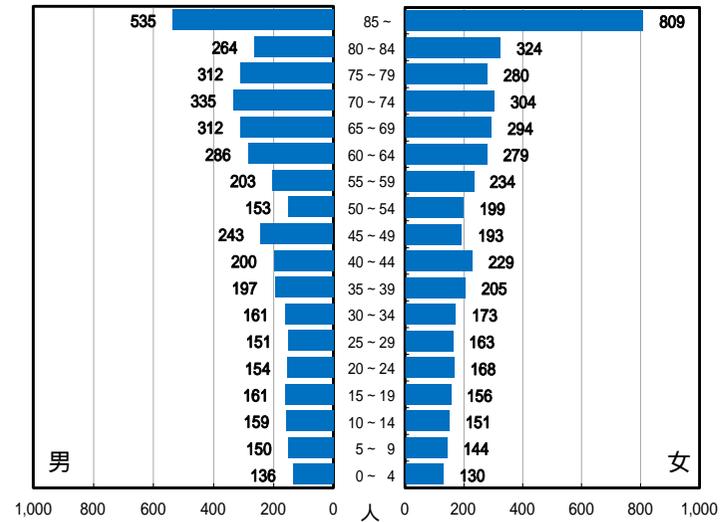
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



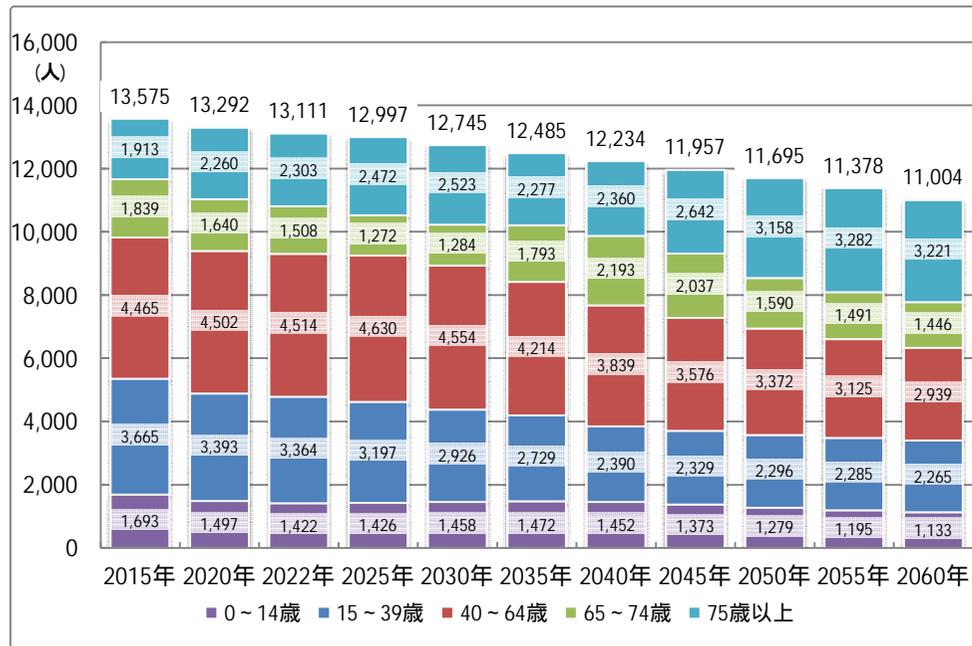
川西地区の将来人口推計（コホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

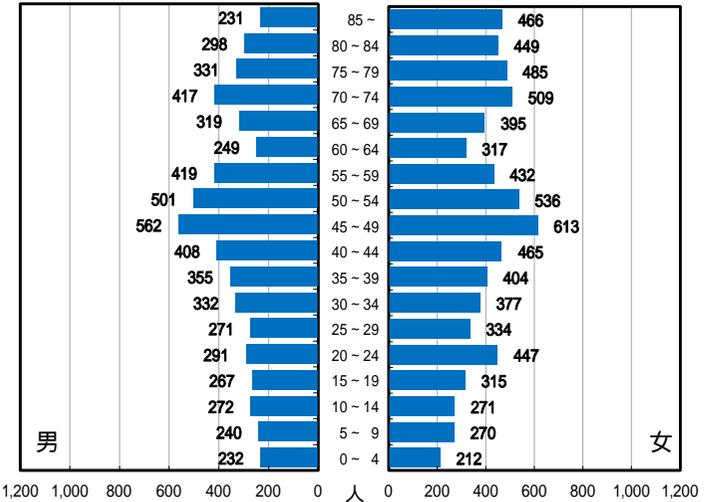
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

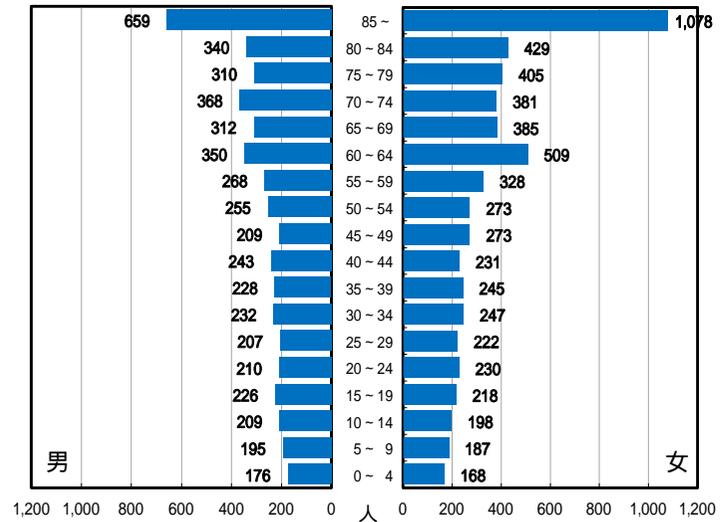
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



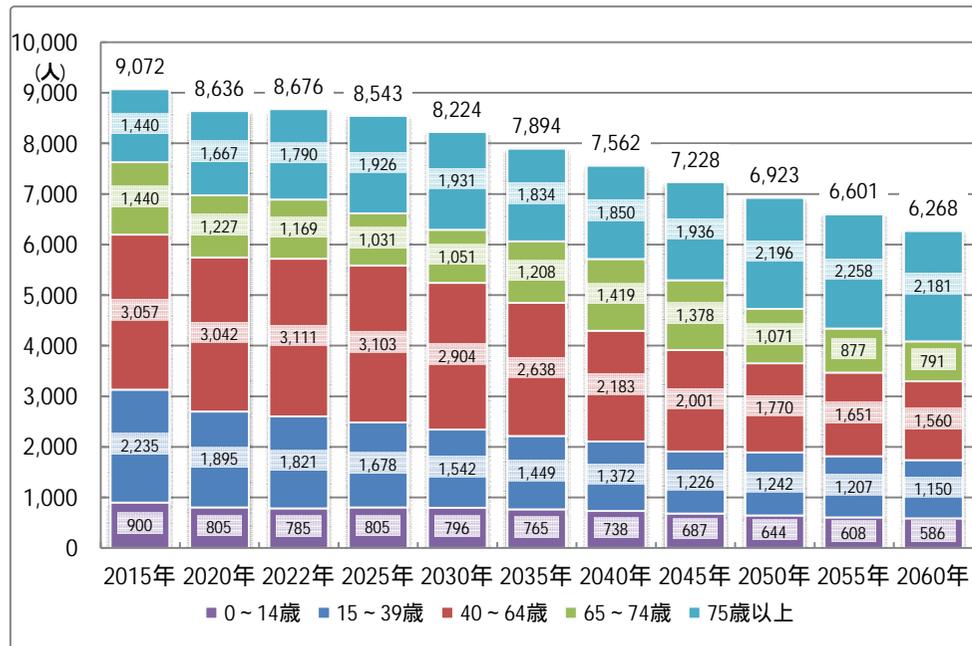
桜が丘地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

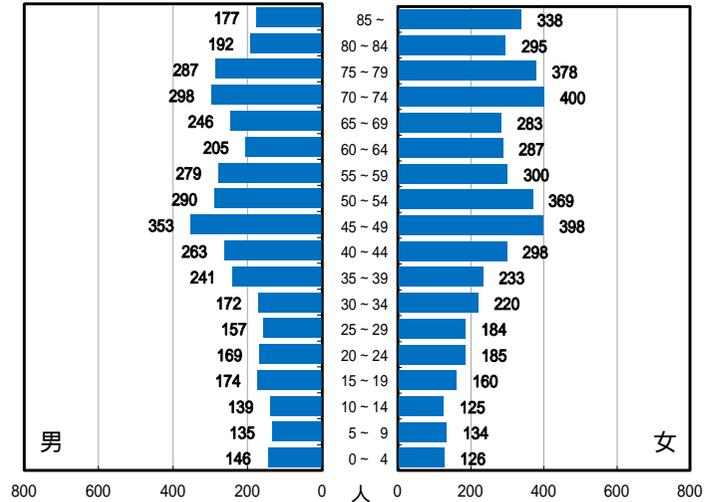
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

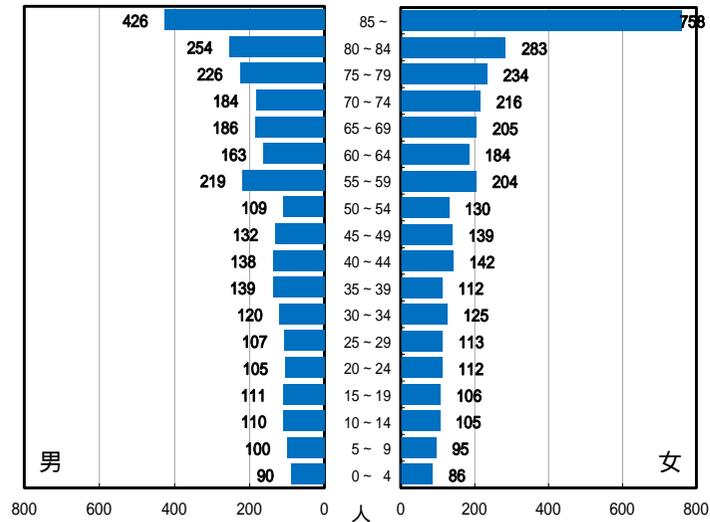
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



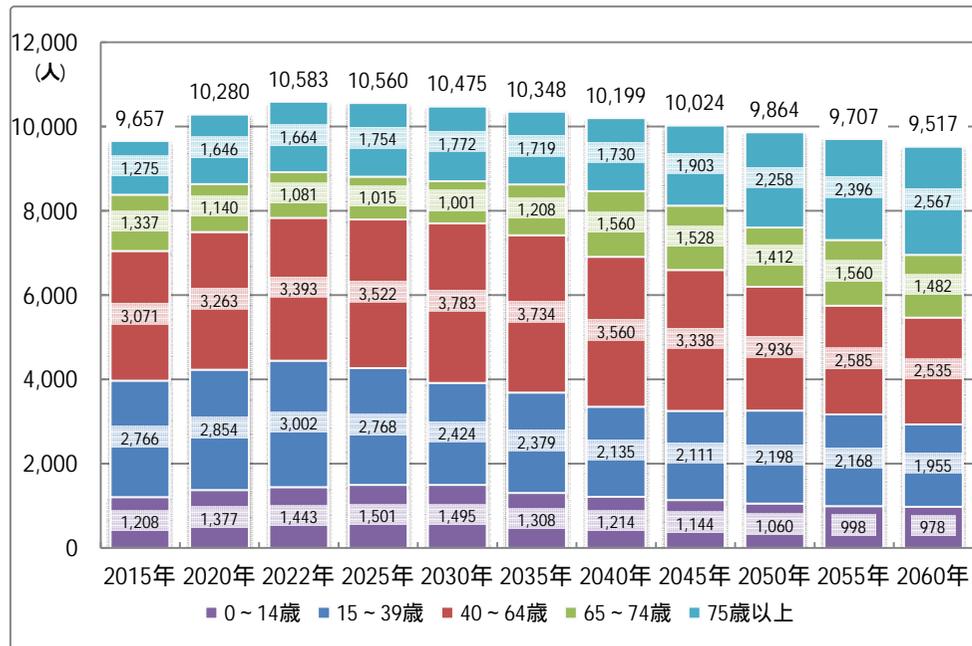
川西北地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

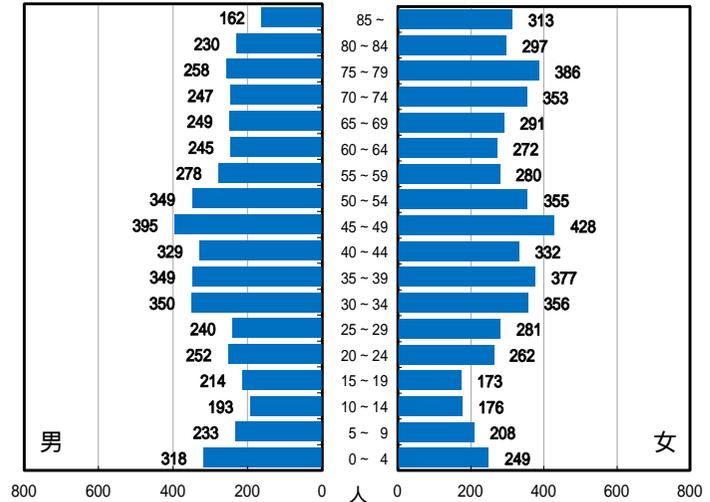
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

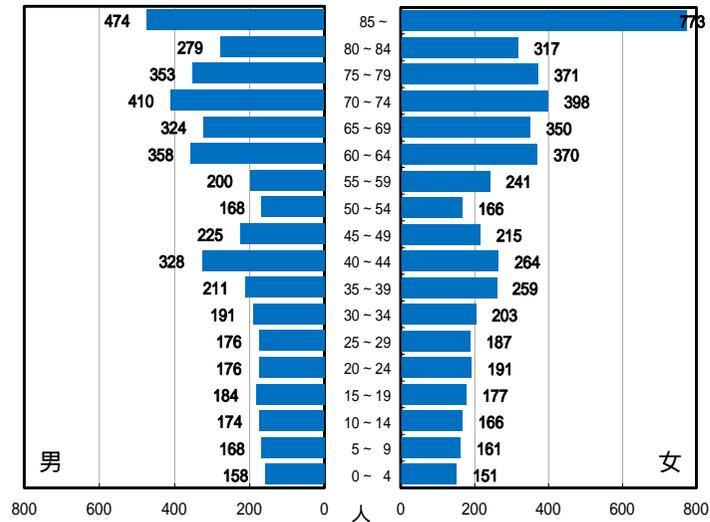
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



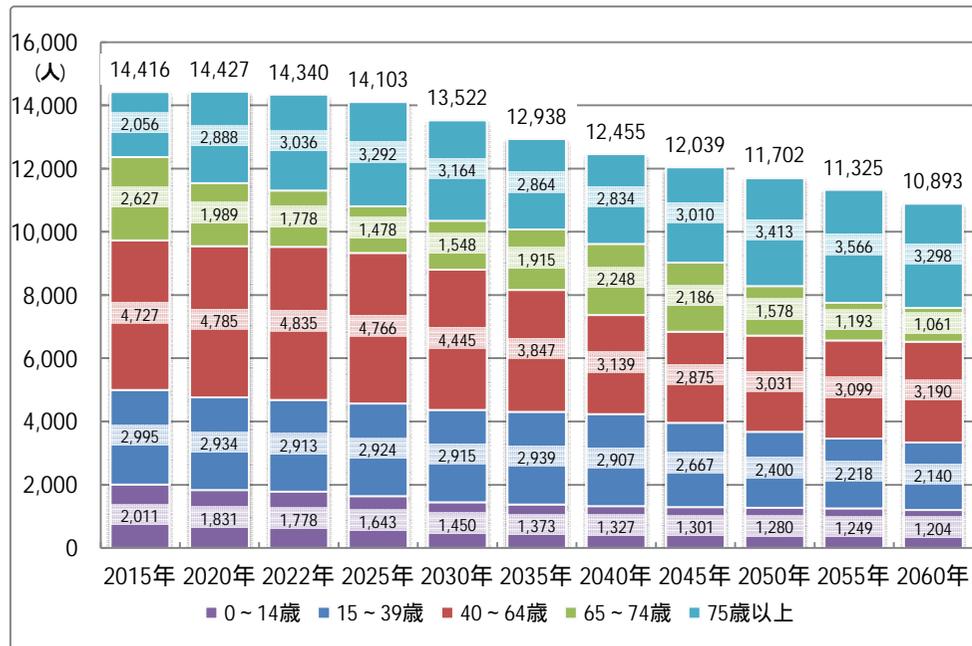
明峰地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

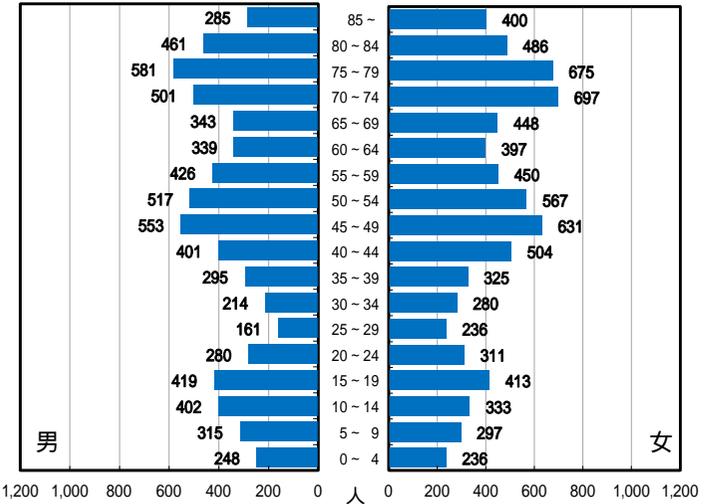
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

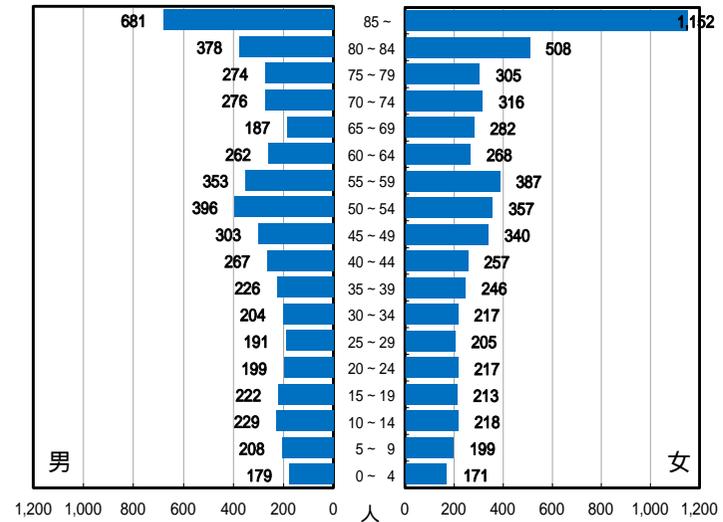
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



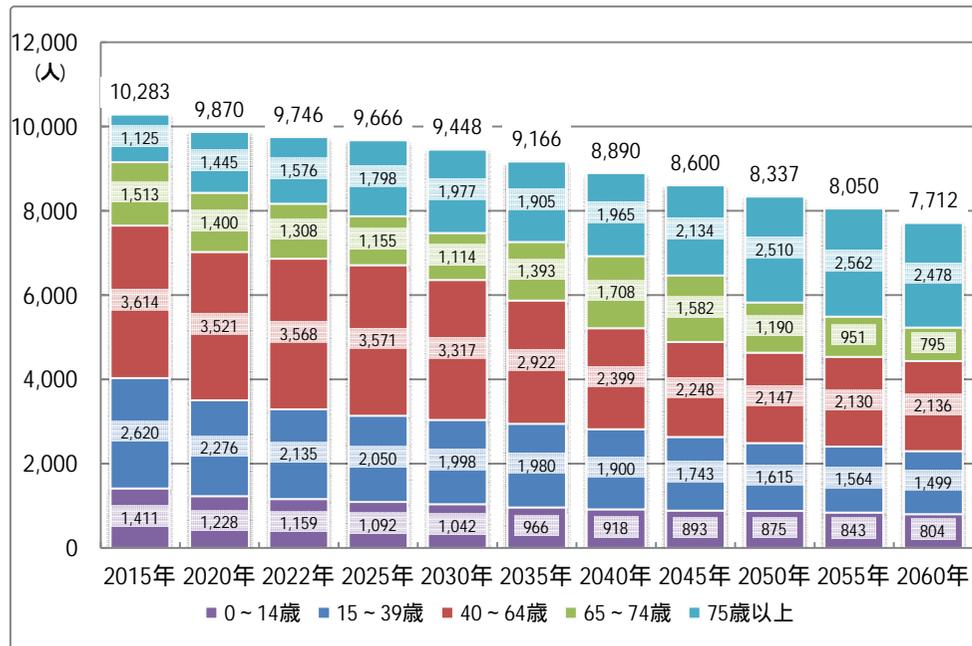
多田地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

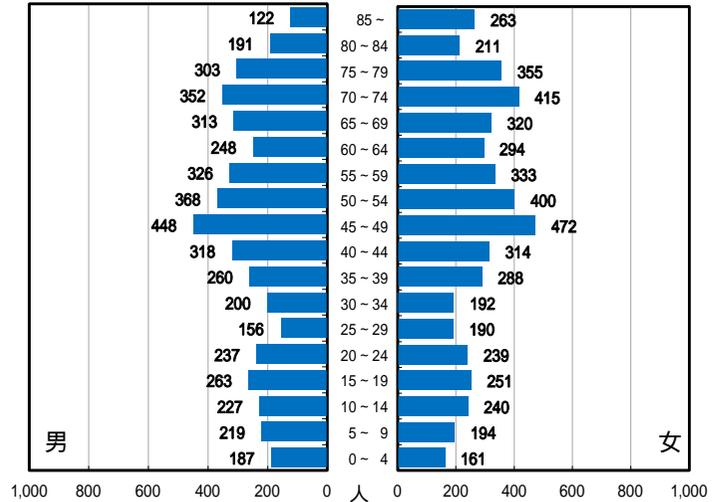
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

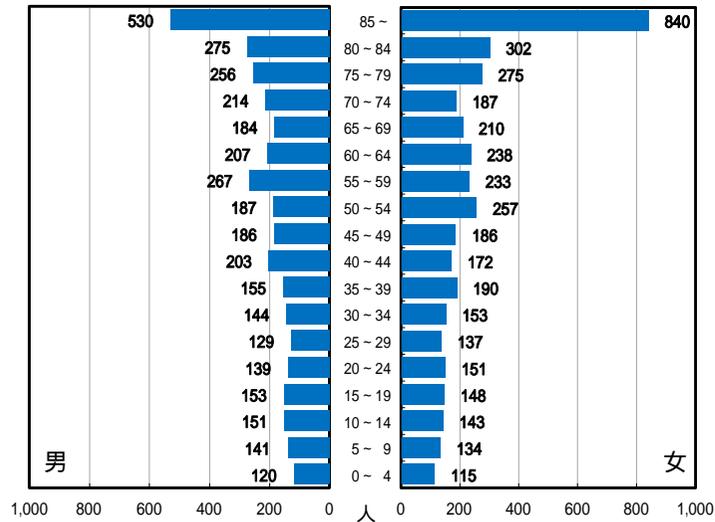
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



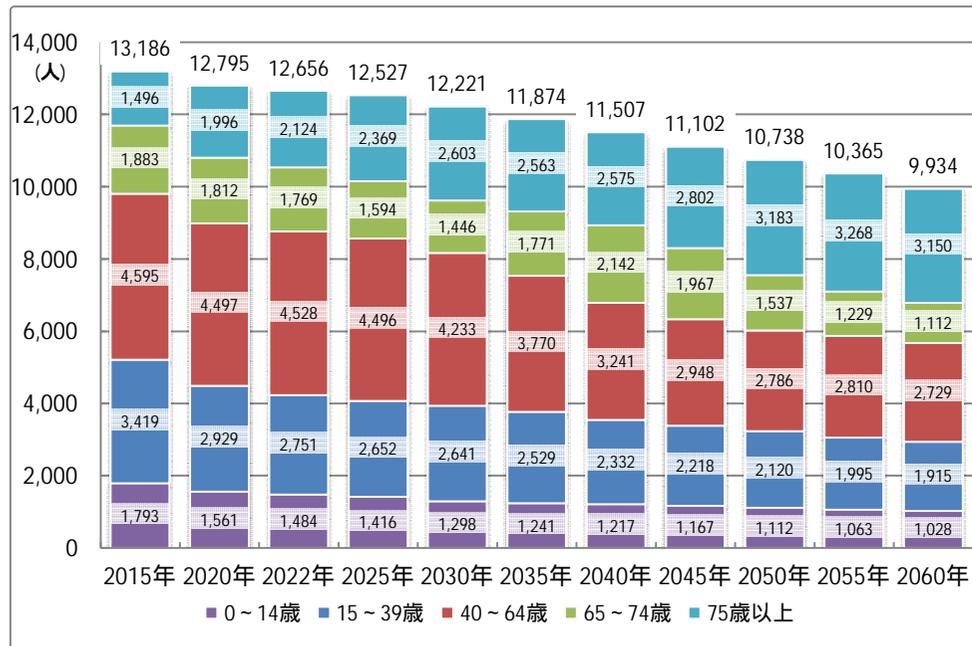
多田東地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

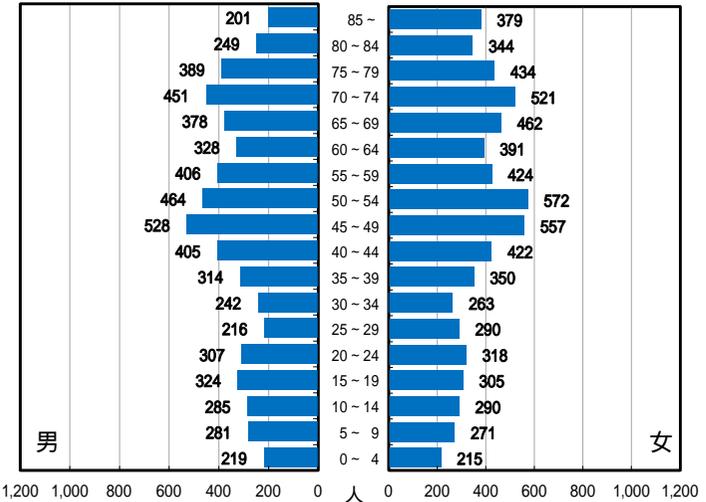
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

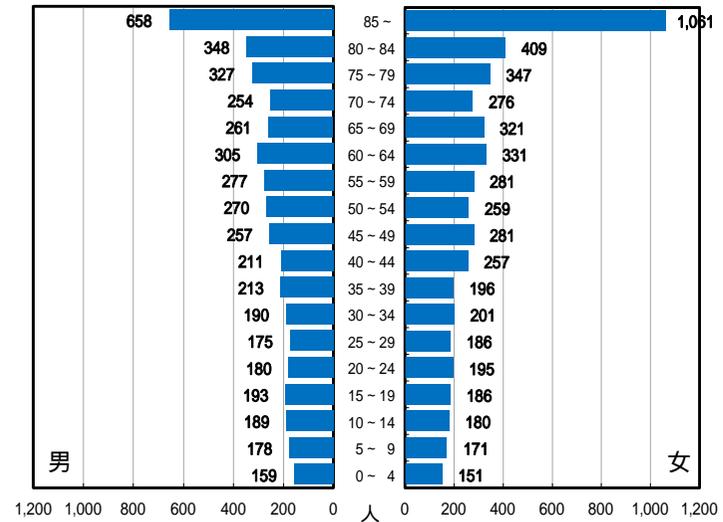
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



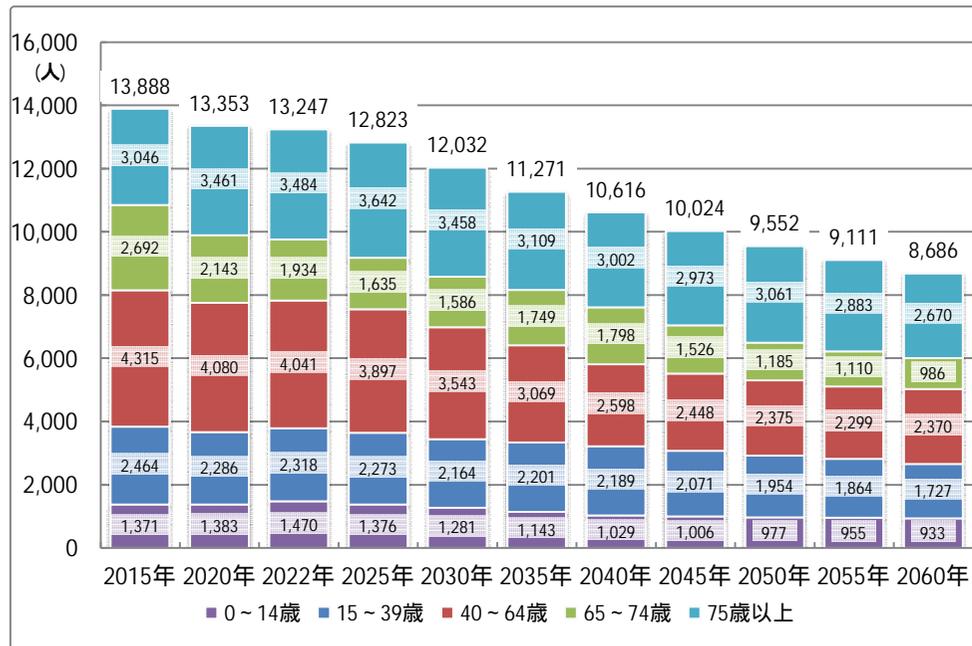
緑台・陽明地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

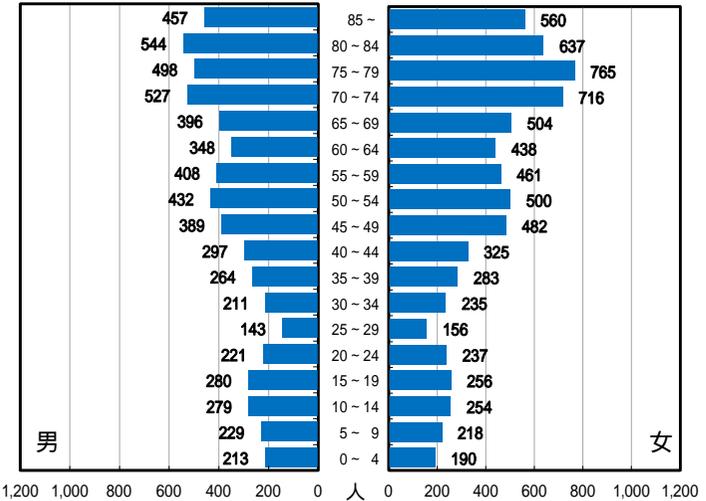
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

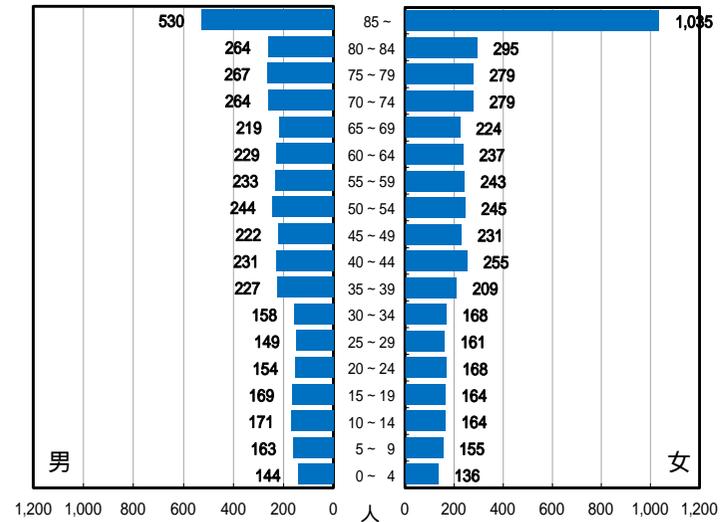
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



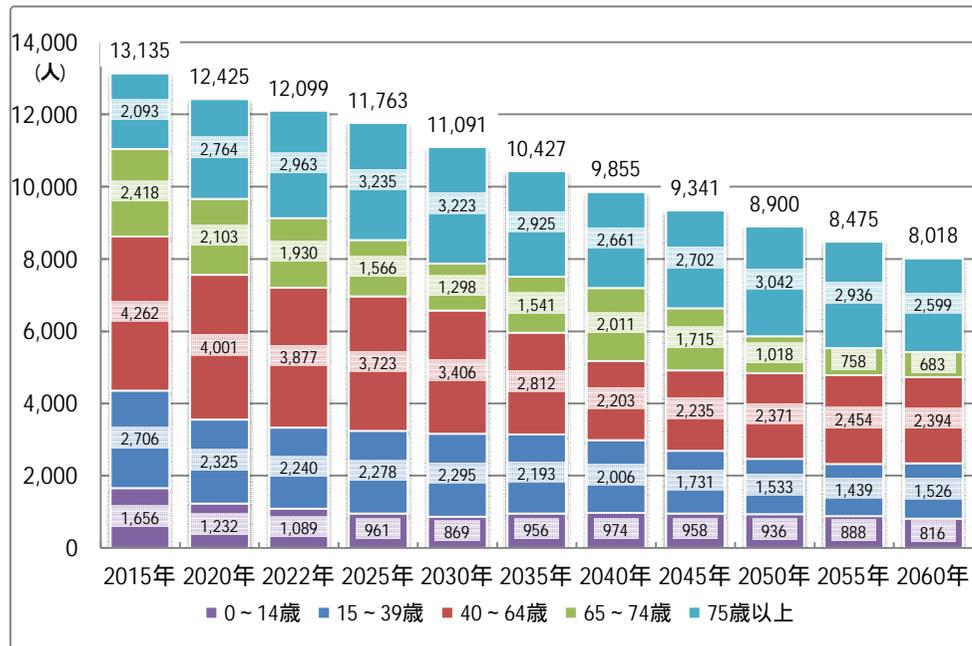
清和台・清和台南地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

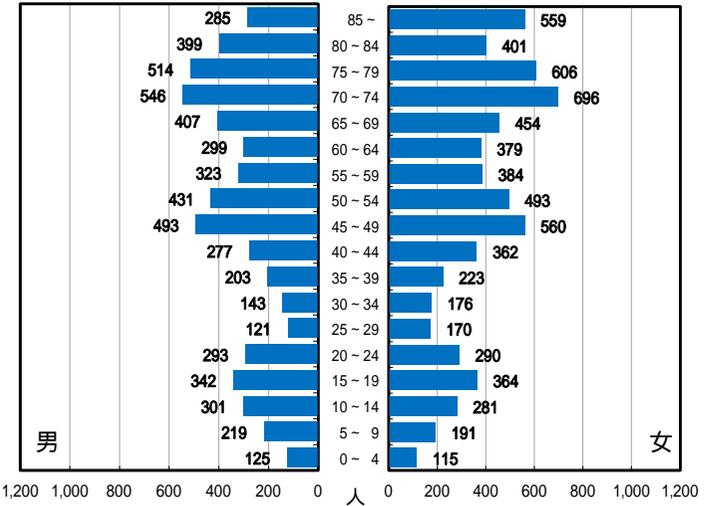
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

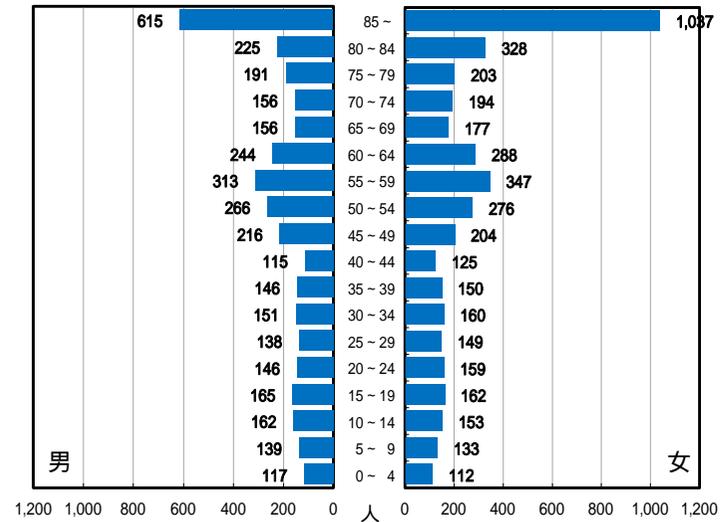
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



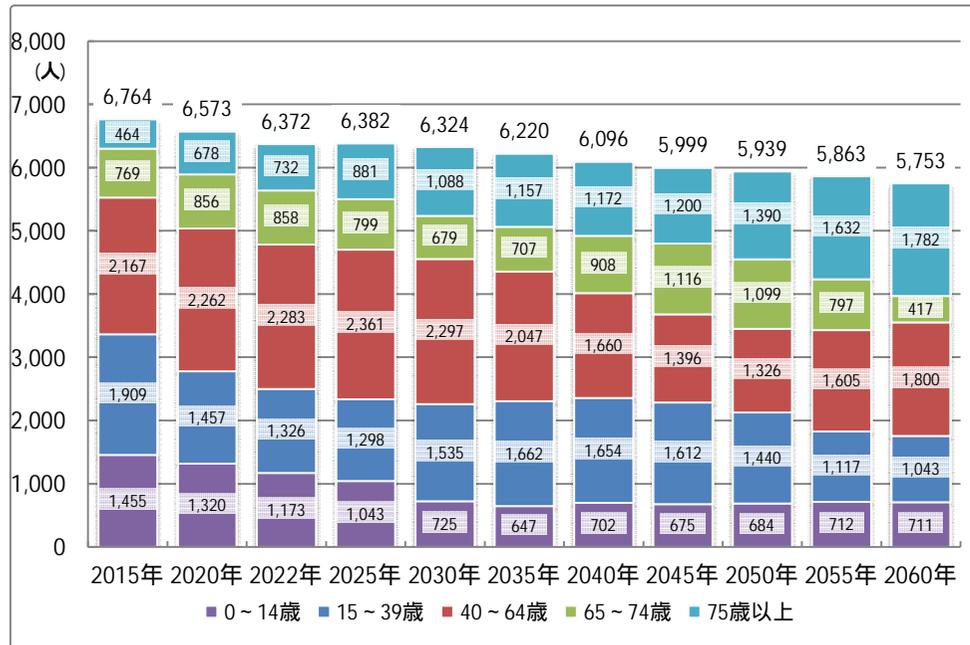
けやき坂地区の将来人口推計（コホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

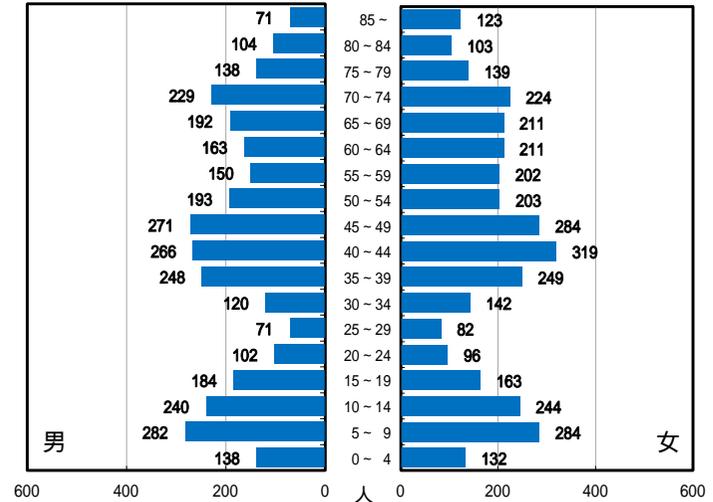
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

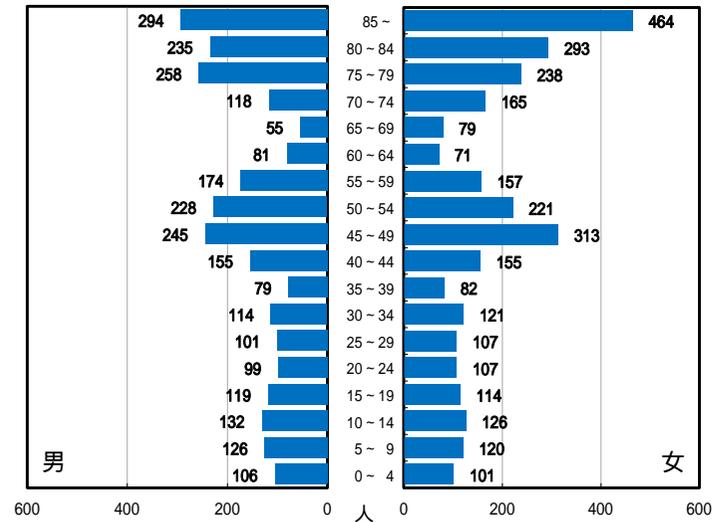
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



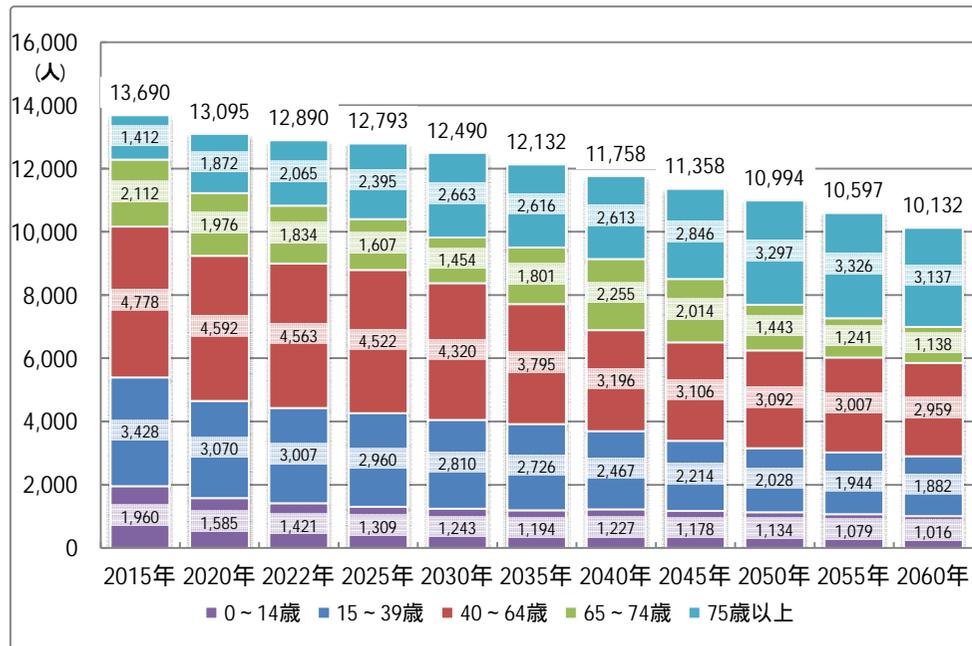
東谷地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

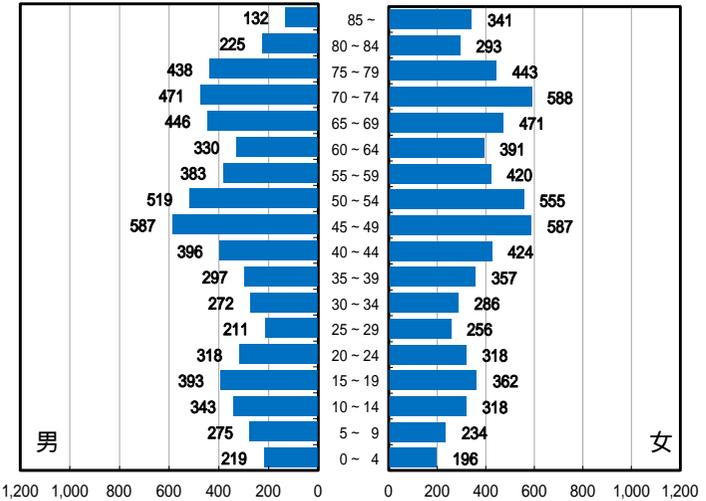
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

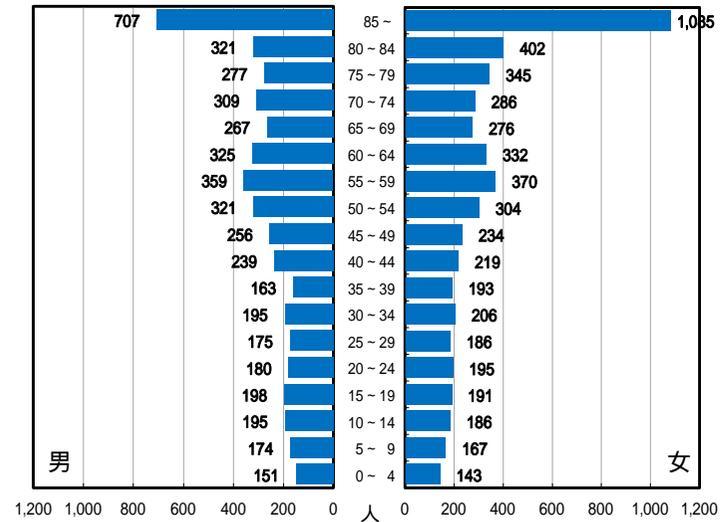
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



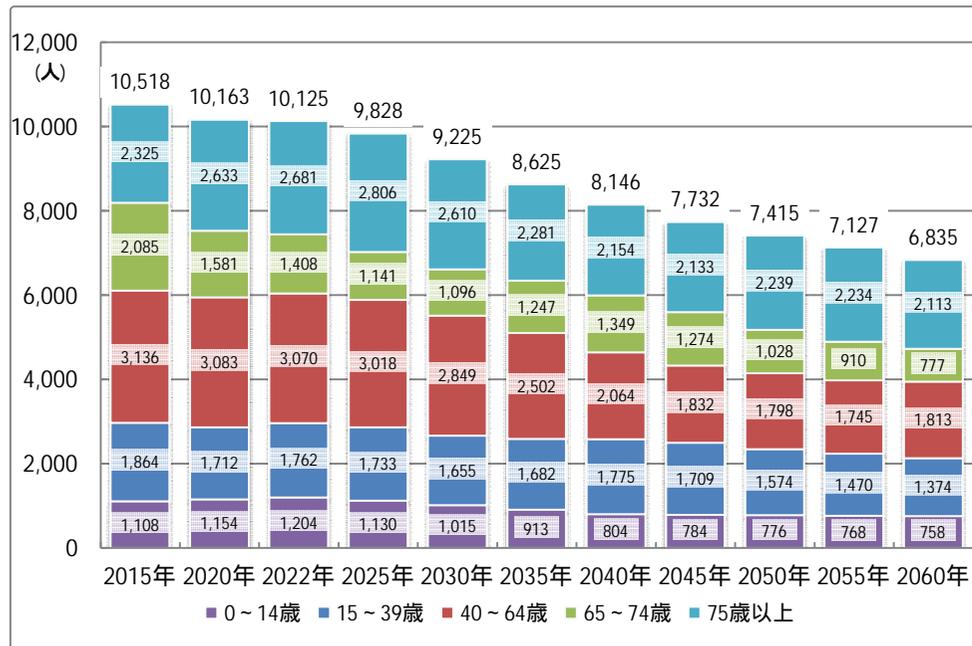
牧の台地区の将来人口推計（コーホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

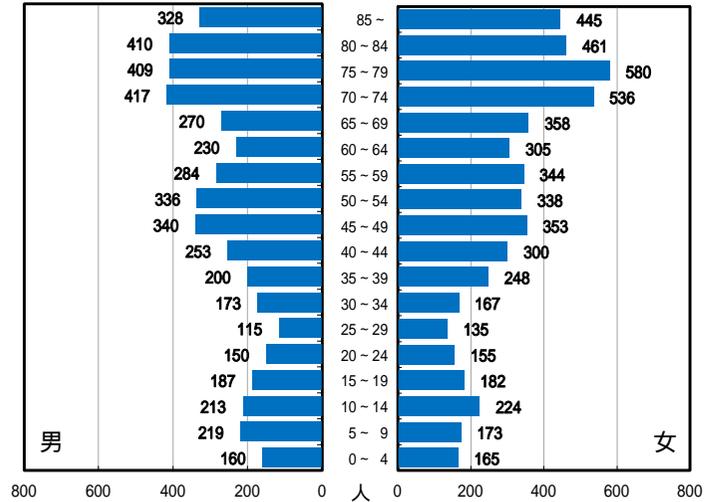
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

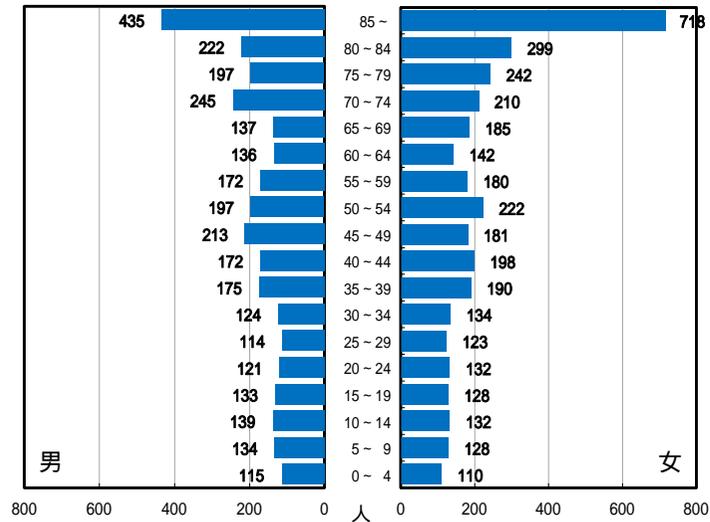
設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕



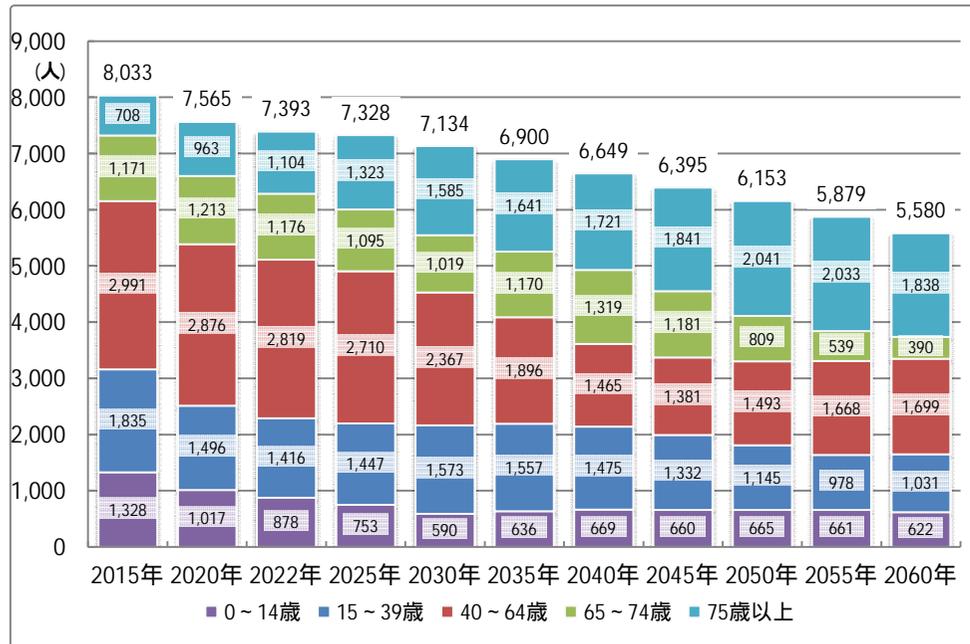
北陵地区の将来人口推計（コホート要因法）

基準人口：2022年10月1日

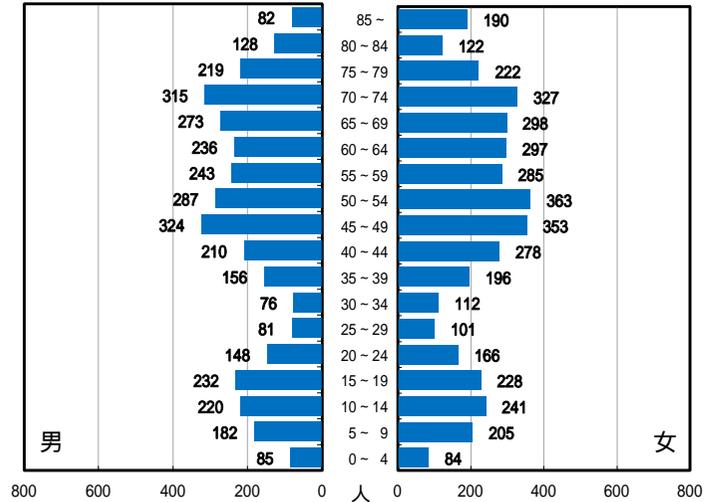
基準年次： 2015年 ~ 2020年 国勢調査人口

算出方法： 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口』（平成30年推計）に準拠 生残率、純移動率、子ども女性比、出生性比を「川西市」として設定された仮定値を採用

設定ケース： 仮定値についてはすべて社人研の設定どおり
 基準人口については、2020年の国勢調査人口に2020年9月末と2022年9月末の人口移動状況を反映
 2015年及び2020年の年齢不詳人口は按分処理



現在〔2020年(令和2年)〕



将来〔2060年(令和42年)〕

